

2025年11月19日
株式会社SVPジャパン

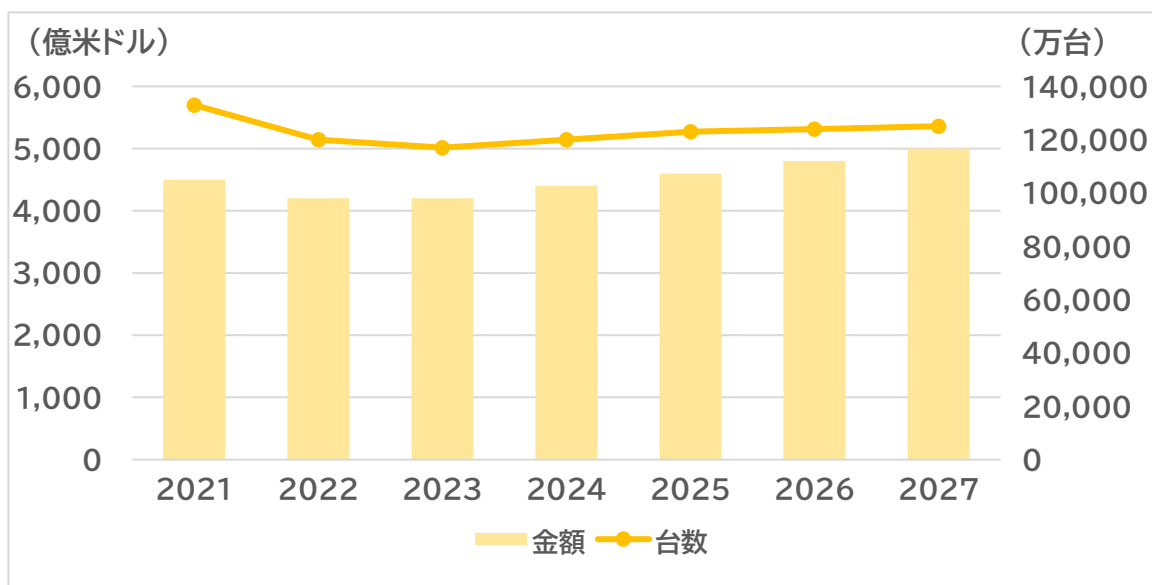
SVP注目市場分析 「スマートフォン」を公開

～ Apple・Samsungと中国勢が主導する新たな局面～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「スマートフォン-世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■スマートフォンの世界市場



スマートフォンは、SNSやキャッシュレス決済、動画配信など多様な用途に欠かせない生活ツールである。世界市場は2017年をピークに減少が続いたが、2024年は約12億台・4,400億ドル（66.7兆円）と、AI搭載機種の普及や新興国での需要増によりプラス成長へ転じた。地域別ではアジアが約5割を占め、日本でもAI機能搭載機種による買い替え促進で回復傾向にある。今後もAIスマートフォンや5G端末への移行を背景に、2026～27年にかけて緩やかな市場拡大が続く見通しである。さらに、各国での補助金政策や、折りたたみ式モデルなど新機軸商品の投入も市場成長を後押ししている。メーカー各社はハイエンドモデルへの注力を強め、AI機能による差別化が競争力の鍵となっている。AI技術の進化が今後のスマートフォン市場の成長ドライバーとして期待される。

■ スマートフォンの市場概況

スマートフォン市場は、AppleとSamsung Electronicsが出荷台数ベースでいずれも20%弱のシェアを有し、2強体制が続いている。ハイエンド市場では両社がほとんどのシェアを占め、とりわけAppleが圧倒的な存在感を示す。一方で、XiaomiやOPPOなど中国メーカーが台頭し、価格競争力と新興国市場での販売拡大によりシェアを伸ばしている。Appleは生成AI「Apple Intelligence」を搭載したiPhone16シリーズを投入し、AIを中核とした高付加価値戦略を推進している。Samsung Electronicsも「Galaxy AI」を搭載したS24シリーズを展開し、折りたたみモデルなどでフルライン戦略を強化している。こうした動きにより、Appleと『Android』端末を展開するSamsung Electronicsおよび中国メーカーが、世界シェアの大半を占める構造となっている。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック
※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。
購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

12月のテーマは「通信キャリア (MNO)」と「格安スマホ (MVNO)」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com